

日本一の強酸性泉

大噴から湧出するような強酸性の温泉水は、火山ガスに由来するため、活火山付近の地域にしか存在しません。

湯の強酸性は、火山ガスに含まれる塩化水素と二酸化硫黄から生じる塩酸と硫酸によるものです。その温泉水の酸性度は、火山ガスがこの二つの酸を含んでいる量および火山ガスと地下水の比率によって決まります。

pH レベルが 1 前後で推移するほどの強酸性である大噴の温泉水は、鉄、アルミニウム、さらにはコンクリート中のセメントさえもゆっくりと溶解します。高酸性泉の下流の川に生息する生物も、時間の経過とともに悪影響を受けます。

玉川温泉の湯は、完全に安全に入浴できるよう薄めてあるだけでなく、健康に関する数々の効能があることも示されています。